

## 平成23年度事業計画

- 1 講習会事業
- 2 国家試験事業
- 3 検査事業
- 4 調査研究事業
- 5 出版事業
- 6 広報事業

財団法人 ビル管理教育センター

## 平成23年度事業計画

### 1. 講習会事業

建築物における衛生的環境の確保に関する法律（以下「建築物衛生法」という。）に基づき、建築物環境衛生管理技術者講習会及び知事登録講習会を引き続き実施する。

平成23年度は、前年度に引き続き再講習会の実施が6年周期のピークにあることから、講習会全体としては、例年より多い161コースの開催となっている。

講習会の実施に当たっては、引き続き、受講者の立場に立った講習会の実施を図る観点から、教務委員会及び試験問題、修了認定委員会等を開催し講習会の適正な実施及び受講環境の向上に努める。（講習会毎の内訳は別表）

#### (1) 建築物環境衛生管理技術者講習会

- ・コース数 16コース（前年度計画 17コース）
- ・受講者見込 1,420人（ " 1,500人）

#### (2) 知事登録講習会

##### 1) 新規講習会

- ・コース数 47コース（前年度計画 54コース）
- ・受講者見込 3,720人（ " 4,350人）

##### 2) 再講習会

- ・コース数 98コース（前年度計画109コース）
- ・受講者見込 7,440人（ " 7,430人）

#### (3) 平成23年度の地区別開催計画数

（ ）内は前年度計画

札幌	仙台	東京	名古屋	大阪	広島	高松	福岡	沖縄	その他	合計
(9)	(5)	(70)	(10)	(43)	(6)	(3)	(10)	(3)	(21)	(180)
5	1	77	10	46	2	0	13	4	3	161

#### (4) 講習会教材の作成等

知事登録講習会テキストのうち、23年度は統括管理者テキストの改訂版を作成する。

また、22年度に建築物環境衛生管理技術者講習会資料としてパワーポイントを活用した教材を科目ごとに作成したところであり、23年度は全16コースにおいてこの活用を進めていく。

### (5) 中央協議会への協力

貯水槽管理、排水管清掃及び空気調和用ダクト管理の各中央協議会の事務局として、関連団体の行う従事者研修が円滑に実施されるよう、テキストの改訂等について引き続き協力する。

## 2. 国家試験事業

建築物衛生法に基づく指定試験機関として、第41回建築物環境衛生管理技術者試験を実施する。

試験実施にあたり、問題作成及び合否判定については試験委員会及び幹事委員会による適正、公正な実施に努める。

また、受験者への合格基準及び正答の公表、受験者からの個人情報の開示請求に基づき当該個人得点の開示を行う。

### (試験実施日程等)

- 1) 試験日 平成23年10月2日(日)
- 2) 合格発表日 平成23年11月1日(火)
- 3) 試験地 全国6地区(札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡)
- 4) 受験者計画数 12,200人(前年度計画数 11,900人)

## 3. 検査事業

建築物衛生法施行規則に基づく粉じん計の較正、水道法に基づく簡易専用水道検査及び都知事登録を行っている水質検査事業については、関係法令並びに内部業務管理規程等に基づき適正な検査等の実施に努める。

なお、粉じん計の較正については、較正技術委員会の開催、新型準器の導入など較正業務の充実を図り、その信頼性の確保に努める。

### ○ 各種検査の計画件数

	前年度計画	23年度計画
室内浮遊粉じん計の較正	6,900件	6,900件
飲料水の水質検査	1,500件	1,500件
簡易専用水道施設の検査	650件	650件
防錆剤品質規格検査	10件	5件
レジオネラ属菌の検査	350件	460件

#### 4. 調査研究事業

建築物衛生管理における技術面の充実と関連情報集積のため、センターにおいて調査研究を実施するとともに、公募による研究助成、関連学会等の外部関係機関への技術提供及び連携を推進する。

##### (1) センター調査研究

- ・研究課題 「社会福祉施設における粒子状物質と浮遊微生物に関する研究」
- ・研究内容 建築物衛生法により空気中の微生物対策が図られているが、法規制が及ばない社会福祉施設では、レジオネラやインフルエンザなどによる集団感染事例が散見され、衛生管理上問題となっている。特に、社会福祉施設における空気中の微生物汚染と関連の深いとされる室内の粒子状物質(エアロゾル)と生物由来の浮遊微生物(バイオエアロゾル)についての検討はほとんどされていない。  
このため、室内のエアロゾルやバイオエアロゾルの濃度推移や相関について解析を行い、問題点の掌握と、維持管理に関する留意点の取りまとめを行う。
- ・年次計画 平成23年度単年計画

##### (2) 調査研究助成制度による調査研究事業

センター以外で実施する建築物衛生管理に関する調査研究について、センターホームページ等により学会、関係団体、行政等へ広く公募を行い、建築物衛生の推進に資する調査研究について助成を行う。

(平成23年度助成予定課題数)

- ・一般公募調査研究：4題
- ・指定調査研究：2題

##### (3) その他(研究発表集会の開催等)

建築物環境衛生管理技術者、行政等の関係者が行なった調査研究等の成果や維持管理における改善事例等に関する研究発表集会を第39回建築物環境衛生管理全国大会(24年1月)において開催する。

また、日本公衆衛生学会、日本衛生学会、空気調和・衛生工学会並びに日本産業衛生学会等の学会・協会へ参加し、職員の技術、知見の向上を図る。

#### 5. 出版事業

季刊誌編集委員会を開催し、引き続き季刊誌の発行を行うとともに、必要に応じて各種出版物ごとに編集委員会を設けて内容の検討・改訂等を行う。

○ 23年度の作成、販売計画

	作成計画	販売計画	
季刊誌「ビルと環境」	年4回発行分	6,610部	2,860部 ※
新版建築物の環境衛生管理（上下巻）	増刷	—	1,870部
レジオネラ防止指針（第3版）		—	340部
特定建築物における建築確認時審査のためのガイドライン		—	100部

※ 広報の一環として無償配布を行っている。

## 6. 広報事業

建築物における衛生的環境の確保、維持管理の重要性について、広く国民に理解・周知を図るため、建築物環境衛生管理全国大会の開催及び季刊誌、ホームページ等を通じた広報事業を推進する。

### （1）第39回建築物環境衛生管理全国大会

- ・実施日 平成24年1月19日(木)・20日(金)
- ・会場 東京：(財)日本教育会館一ツ橋ホール
- ・行事 式典、特別講演、専門講座、シンポジウム、研究発表

### （2）大会式典における表彰

- ・会長表彰  
建築物における衛生的環境の確保に関し顕著な功績のあった者を表彰
- ・研究発表優秀課題表彰  
保健文化賞受賞記念基金事業として38回大会の研究発表優秀課題を表彰

(別表)

## 平成23年度講習会実施計画

## 1 建築物環境衛生管理技術者講習会

講習会の種類	前年度計画		23年度計画	
	コース	受講見込数 人	コース	受講見込数 人
建築物環境衛生管理技術者講習会	17	1,500	16	1,420

## 2 知事登録講習会

講習会の種類	前年度計画		23年度計画	
	コース	受講見込数 人	コース	受講見込数 人
新規講習会	54	4,350	47	3,720
① 清掃作業監督者	11	1,030	11	960
② 空気環境測定実施者	8	420	9	430
③ ダクト清掃作業監督者	2	60	1	30
④ 貯水槽清掃作業監督者	18	1,590	11	1,100
⑤ 排水管清掃作業監督者	3	210	3	220
⑥ 防除作業監督者	4	420	4	390
⑦ 統括管理者	4	320	4	300
⑧ 空調給排水管理監督者	4	300	4	290
再講習会	109	7,430	98	7,440
① 清掃作業監督者	22	1,750	22	1,810
② 空気環境測定実施者	12	730	10	800
③ ダクト清掃作業監督者	2	50	2	20
④ 貯水槽清掃作業監督者	42	2,860	31	2,600
⑤ 排水管清掃作業監督者	5	260	4	180
⑥ 防除作業監督者	10	740	12	890
⑦ 統括管理者	11	730	11	720
⑧ 空調給排水管理監督者	5	310	6	420
計	163	11,780	145	11,160
講習会合計(1+2)	180	13,280	161	12,580